2018 年 度 報 告 書

・事業報告及び附属明細書
・貸借対照表
・損益計算書（正味財産増減計算書）
・損益計算書（正味財産増減計算書）内訳表
・財務諸表に対する注記
・貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書
・予算対比損益計算書（正味財産増減計算書）（参考資料）
・財産目録（参考資料）
・監査報告

一般財団法人　住友生命福祉文化財団

Ⅰ　予防医学振興事業

1．　住友生命総合健診システム（人間ドック）

健康寿命延伸への意識が高まる中、予防医学の観点から、受診者の生活習慣病の早期発見及び健康管理に注力しました。健診前の保健師、看護師によるきめ細かな面談、医師による全受診者へのアドバイス等、受診者体験価値向上へ新たな取組を実施いたしました。

（1）総受診者数は、23，183名で前年同数となり 11 年ぶりに減少に歯止めがかかりました。
（2）総合健診受診者数は21，951名（前年比＋119名）と 5 年ぶりに増加しました。
（3）初回受診者も3，217名と堅調に推移しております。
（4）健診受診料金収入は、1，072百万円となり、前年比約20百万円増加しました。
（5）実施10年目を迎えた特定健診・特定保健指導の受診者数は、8，463名となりました。

【住友生命総合健診システムの受診状況】

	総合健診		特定健診・特定保健指導			
	受診者（うち初回受診者）	（初回割合）	受診者	当日面談	後日面談	情報提供
男性	11，858 （前年比　（1，601） －55名）	（13．5%）	4，952	1，917	298	2，737
女性	10，093 （前年比　（1，616） ＋174名）	（16．0%）	3，511	1，372	430	1，709
合計	21，951 （前年比　（3，217） ＋119名）	（14．7%）	8，463	3，289	728	4，446

（6）住友生命総合健診システムでは、高度な健診内容を安全快適に提供し、受診者体験価値を高めるため、計画的に設備・施設の更新を行い、健診クオリティ向上に継続して取り組みました。
（7）21年目を迎えた聴力障がい者無料健康診断、10年目を迎えた大阪府下の介護家族の会会員への総合健診受診優遇を通じて社会貢献に努めました。

健診クオリティの向上	（主な取組内容） ①乳癌検査について、マンモグラフィ2方向追加、視触診廃止 ②胃カメラについて、検査料金改定、午後検査枠追加 ③腫瘍マーカー検査（CEA、CA19-9）について、対象者を全年齢へ拡大

健診システムの更改	（主な更改内容） ①問診票の改正 （質問項目の充実、マークシート方式からレ点方式への変更等により記入しやすい内容へ変更） ②新医療面接の導入（健診の冒頭に保健師・看護師による面接、健康状況・問診内容の確認、オプション検査のお勧め等を実施） ③健診結果報告書の改定（受診者にとって、よりわかり易く健康志向の高まりに対応した内容への改正）
聴力障がい者無料健康診断の実施	①聴力障がいの方を対象にした無料健康診断を2月９日に実施しました。 ②公益社団法人大阪聴力障害者協会・公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会等を通じ告知を行い、多数の申込のうち74名の方に受診いただきました。 ③受診時のみならず、事前説明会、結果説明会も手話通訳つきで実施しました。 ④この取組は21回を数え、これまでの延べ受診者数は1，536名にのぼっています。
「介護家族の会」会員への総合健診受診の優遇	介護に携わる人は、自身の健康管理が疎かになりがちであるため、大阪府下の「介護家族の会」会員を対象に受診優遇を継続実施し、40名の方に受診いただきました。

(8)運営を通じて得られる知見については、従来から学会等での発表を積極的に行っており、以下のとおりの実績となりました。学会発表のほか、多くの研修会、勉強会等にも積極的に参加し、最新医学情報の習得、健診技術の向上のため、職員の研鑽に注力しました。

第35回日本消化器がん検診学会近畿支部超音波研修会	10月6日	大阪市立総合医療センターさくらホール
超音波スクリーニング検査のポイント（腎臓） 【講師】長尾顕一		
第28回日本乳癌検診学会総会	11月23日	大阪国際会議場
検診実績・自覚症状の有無を踏まえたモダリティ別乳癌検診成績の報告 【発表者】亀岡美幸 【共同演者】田中和美、坂根深幸、川﨑幸代、坂根恵梨子、岩尾綾子、中山由香、寺田博美、神田恵美子、岡田優子、長尾顕一、堀本葉子		
日本総合健診医学会第 47 回大会	2月1日	新横浜プリンスホテル
人間ドックでの腹部超音波検査で指摘した主要5臓器以外の所見に関しての検討 【発表者】岡田優子 【共同演者】坂根深幸、宮脇美沙、亀岡美幸、神田恵美子、安井香里、谷口恵、小田真菜、長尾顕一、久保満明、堀本葉子		

2.　地域医療貢献奨励賞

自治医科大学の後援を得て、へき地等で長期にわたり地域医療に多大な貢献をされている医師を顕彰する「地域医療貢献奨励賞」は12年目を迎えました。全国の都道府県から推薦のあった医師の中から次の6名を選出し、2月23日に表彰式を行いました（副賞50万円）。

小窪　正樹	北海道河西郡芽室町　公立芽室病院 院長
昭和53年自治医科大学卒。昭和55年から道内の数多くの過疎地域や離島での勤務を経て、平成6年から公立芽室病院に外科医として勤務を始め、以来24年の長きにわたり芽室町の地域医療に従事してきた。下肢血管疾患を専門としており、年間の手術数は400例を数え、平成7年から現在までの下肢静脈瘤の症例は1万例を超えるなど、下肢血管疾患に悩む多くの地域住民の生活を支えてきた。専門分野にとらわれない幅広い治療として、消化器疾患や甲状腺疾患、末梢血管外科や乳腺疾患などの外科診療のほか、血液透析治療、抗がん剤などの化学療法、麻酔科診療も手掛け、特に外科手術においては、十勝圏域西部の過疎地域には不可欠の存在となっている。平成7年4月に副院長、平成23年に院長に就任、病院経営に手腕を発揮したほか、町民への講演など広報活動にも力を入れ、また、芽室町内総合保健医療福祉協議会会長として、町の保健・医療・福祉政策を総合的に推進してきた。各種健診や予防接種等の保健事業にも積極的に協力し、十勝西部における地域医療に大きく貢献、臨床医としての実績と人情味あふれる人柄により、地域医療を担う全道の医師から尊敬されており、北海道の地域医療を牽引してきた第一人者といっても過言ではなく、その貢献は誠に多大である。	
柴野　良博	岩手県下閉伊郡岩泉町　済生会岩泉病院 院長
昭和53年自治医科大学卒。平成元年、済生会岩泉病院に院長として着任。平成4年から開始した訪問診療や訪問看護は、在宅医療の推進が叫ばれている今の医療政策を先取りした先進的な取り組みとして高く評価されている。平成5年の新病院の移転新築を契機として、専門医師がいない中で自らが担当して腎不全患者の人工透析治療を開始、これまでの透析回数は延べ8万回を数え、地域への大きな貢献となっている。東日本大震災、平成28年台風10号による岩泉町の大水害においても、入院患者等の緊急搬送や施設入居者の受け入れなど、災害医療コーディネーターとして強いリーダーシップを発揮し、医療の確保は勿論のこと、保健、福祉との連携に大きく寄与し貢献した。人材育成においても、地域医療研修の協力病院としてこれまでに約140名の初期研修医を受け入れ、医師の養成にも大きく貢献している。30年の長きにわたり常に地域の実情にあった患者中心の医療を展開し、地域の医療を守るために情熱をもって取り組んできたことに加え、医師の少ない中で岩泉町の各種検診や予防接種、学校医などの保健予防活動にも積極的に協力するとともに、町の各種委員等を引き受け、保健行政の円滑な運営にも貢献してきた。急速に過疎化と高齢化が進んでいる中、岩泉地域の医療・保健・福祉を守る砦として、地域において必要とされるとともに、今後も活躍が期待される。	

三澤 弘道	長野県小県郡長和町　長和町・上田市組合立国保依田窪病院 院長

昭和56年自治医科大学卒。過疎地域である小県郡長和町に所在する国民健康保険依田窪病院に、初代常勤整形外科医師として昭和61年より診療にあたり、平成9年の診療部長を経て、平成14年には院長に就任。この間、地域の基幹病院として地域住民の医療ニーズに対応し、広域医療の要望にも応えるべく一次診療や救急医療に重点を置き医療の充実を図っている。また、専門に特化した整形外科は平成16年に県内初の脊椎センターを開設し、平成24年に脊椎外科手術5,000件を達成し、現在も脊椎手術に尽力している。病院長就任後は、院内の諸制度改革にも取り組み、住民健診をはじめとした保健予防活動から外来診療、在宅医療、救急医療、更に他施設とも連携して地域包括ケアを推進するとともに、出前講座や公開講座、健康推進教室等を開催し啓発活動にも努めている。後進の指導にも積極的に取り組み、臨床研修協力施設として初期研修医を地域医療研修で指導、医学部生の学生実習受け入れ、信州大学医学部運動機能学講座の臨床教授として学生への講義を行うほか、整形外科、特に脊椎外科においては、日本脊椎脊髄外科学会の脊椎外科指導を15名、日本整形外科学会脊椎内視鏡技術認定医を5名育成している。大学卒業後37年の長きにわたり県内病院において勤務し、へき地での地域医療の確保及び後進の育成に尽力し、住民の健康福祉の増進に多大な貢献をしている。

木山　佳明	兵庫県朝来市　公立豊岡病院組合立朝来医療センター 院長

昭和54年自治医科大学卒。昭和63年、兵庫県のへき地である朝来市に所在する公立豊岡病院組合立梁瀬病院（現公立豊岡病院組合立朝来医療センター）院長として勤務し、現在に至るまで30年の長きにわたり、地域における医療の確保と向上、地域住民の健康福祉の増進に貢献している。朝来市を含む但馬地域は、医師不足が深刻化しているが、梁瀬病院において、少数の医師の体制で、朝来市全域の患者を受け入れ、外来や入院、訪問診療を実施するなど長年にわたり、地域に密着した医療を提供してきた。平成28年、病院再編による朝来医療センター誕生にあたっては、病院の方向性等を決める際の中心的な役割を担い、同センター院長就任後は、総合医療やリハビリテーション機能の充実、救急医療の提供、市内医師会や診療所等地域連携強化による在宅医療の推進を行うなど地域完結型医療の構築に向け尽力している。地域住民の健康管理面においても、各地域で健康教室を開催するとともに、住民健診を病院内で行う試みを行い、癌をはじめ多くの疾患の早期発見に努めてきた。また、同センターにおいて、積極的に兵庫県養成医学生・医師の受け入れを行い、地域医療に貢献できる有能な医師を数多く輩出、平成14年度から平成26年度まで自治医科大学の学外教員として5年生の学外地域医療実習を指導し、現在は岡山大学医学生や大阪府の研修医の地域医療研修の指導を行うなど、兵庫県にとどまらず、全国各地の後進の育成に力を入れている。

仲田　永造	岡山県高梁市　医療法人仲田医院 院長
昭和47年関西医科大学卒。昭和47年に倉敷中央病院に赴任し、小児科医として勤務後、昭和62年8月に郷里の自院を継承すべく仲田医院の院長に就任。院長就任後は、地域では数少ない小児科医として、行政と連携しながら情熱と専門的知識をもって現在まで地域医療に取り組んできている。地域住民を対象とした在宅医療に関する市民公開講座、健康教育などの公衆衛生活動にも率先して協力し、医療情報の啓発活動、産業医、介護認定審査、特別養護老人ホーム配置医など幅広い活動を行っている。高梁医師会において理事、副会長を歴任後、平成26年6月に会長に就任、高梁市在宅医療・介護連携推進協議会の会長も務め、切れ目のない医療提供体制の構築を推進、医師会・保健所等の関係団体と一丸となって地域医療構想の実現に向けた連携協力を進めている。医療従事者の確保が喫緊の課題であることから、市独自かつ全国の中山間地域の先導的な地域医療モデルの構築を目指し、「高梁市医療計画（平成30年策定）」の検討委員会副会長として計画の策定にも尽力した。併せて、大学等教育機関での講義、診療所での看護学生の実習の受け入れ、平成30年7月豪雨における避難所でのボランティア活動等、高梁市の地域医療に関する種々の活動においてめざましい指導力を発揮し、医師会会員はもとより、地域住民からの信頼が厚く、今後の活躍が期待されている。	
詫摩　衆三	福岡県田川郡福智町　医療法人たくまクリニック 理事長
昭和56年自治医科大学卒。義務年限終了後も引き続き、方城町立病院や赤池町立病院（現・福智町）の院長として地域医療に従事し、平成17年4月からは赤池町立コスモス診療所の所長として、内科系外科系の調和のとれたプライマリ・ケア医療に邁進。平成22年8月には、長年、福智町の地域医療に従事した経験をもとに、同町にたくまクリニックを開設し、自治医科大学で学んだことの延長として、地域医療を実践している。過疎化、高齢化の進む地域において、内科、外科、整形外科領域のプライマリ・ケアを実践し、糖尿病や高血圧等の生活習慣病予防治療、内視鏡やエコー検査による癌の早期発見、訪問診療や在宅みとり等の在宅医療に力を入れており、最後まで患者を診ることのできる、地域に密着した安心してかかれる家庭医として、地域の健康づくりに貢献し続けている。	

Ⅱ 福祉事業〔実施事業〕

1. 「スミセイ ウエルネス セミナー」

2018年度も健康増進(介護予防)をテーマとして全国43都市で開催し、著名人による講演に体操やウォーキング、サッカー教室等のスポーツイベントを加えた多彩な内容を盛り込んだプログラムを提供、約9千名の方に参加いただきました。

本セミナーは、平成3年に「スミセイさわやか介護セミナー」としてスタートしましたが、昨今の健康増進に対する社会的関心の急速な高まりを受け、2017年度からは「スミセイ ウエルネス セミナー」に名称を変更、介護だけでなく病気予防・健康寿命の延伸といった幅広いテーマを取り上げて実施しています。

2. 「ケアする人のケア」セミナー

一般財団法人たんぽぽの家との共催により、介護する側からの視点で問題提起を行うセミナーを以下のとおり開催しました。介護や介助、子育てなどに関する実践や、ケアの現場で積極的にテクノロジーと寄りそう人の考えや活動を学ぶことを通じ、ケアのあり方やケアのこれからについて考え、学び合う、充実したセミナーとなりました。

(1)ケアする人のケアセミナーinすわ
2018年12月16日、(於)長野県岡谷市、参加者 212名
(2)ケアとソリューション東京フォーラム「ケアとテクノロジー」
2019年2月2日、(於)東京都渋谷区、参加者 199名

3. 遠距離介護セミナー

NPO法人パオッコとの共催により、「親のお金にまつわるトラブルを防ぐ方法」をテーマに以下のとおり開催しました。第1部は「成年後見制度を使う？使わない？」と題した講演、第2部は「体験者と専門家が語る！お悩み軽減！アドバイストーク」と題し、参加者からの質問について専門家や体験者が答える形でのパネルディスカッションを実施。会場全体で考え、問題解決に向けたヒントを探る、充実したセミナーとなりました。

(1)東京会場
2018年10月21日、(於)東京都港区、参加者 115名
(2)大阪会場
2018年10月28日、(於)大阪市北区、参加者 64名

4. 子どものための児童館とNPOの協働事業(NPOどんどこプロジェクト)

NPO法人日本NPOセンターが主催する「子どものための児童館とNPOの協働事業(NPOどんどこプロジェクト)」に協賛し、13府県18プログラムに活動支援を行いました。2018年度も、「地域マルチステークホルダーで課題を解決する」という視点を持った活動が展開され、児童館とNPOだけでなく、複数の主体が参画したプログラムが各地で行われました。

5.　自然環境学習につなげる子どもエコ俳句大賞

NPO法人シニア自然大学校との共催で、自然環境学習につなげる「第13回子どもエコ俳句大賞」を近畿二府四県の小学生を対象に以下のとおり実施しました。

【応募句数】 48，109句

【入選句数】 特選3、準特選3、優秀賞40、優良賞60の合計106句

【表彰式】 2019年1月27日、(於)大阪市此花区、受賞者・家族など約340名が出席

特選、準特選は次のとおりです。

特選 (坪内稔典賞)	低学年	カナヘビを つかまえたとこ 水きれい 丸子 麗仁　　神戸市灘区　高羽小学校 2 年
	中学年	夏の空は 太陽のとうと 仲よしだ 杉本 漣史　　大阪市此花区　島屋小学校 3 年
	高学年	青田風 ぼくもいっしょに 波の中 大窪 凌世　　長浜市　田根小学校 6 年
準特選	低学年	おいもさん ふかふかがぶり でっかいぞ 村井 美都　藤井寺市　四天王寺小学校 1 年
	中学年	ゲームやめ まどを開けたら 虫の声 木村 颯我　　神戸市北区　箕谷小学校 4 年
	高学年	せみしぐれ 神社の庭で 体操だ 増山 日菜　　小野市　下東条小学校 6 年

Ⅲ　音楽文化振興事業 〔実施事業（式典等の貸館を除く）〕

1. いずみホールは4月から9月の半年にわたり、耐震補強とパイプオルガンのオーバーホールを主たる目的とした大規模改修を行いました。これに伴いホールの営業期間10月から3月までの半年間でしたが、主催公演（人材養成事業含む）は26公演を開催しました。共催公演、貸館も含む総公演数は142公演となり、年間の入場者総数は69，672名となりました。
2. 主催公演（外部での開催分は除く）の入場者数は平均で603名となり、2017年度（558名）を大きく上回りました。貸館数は下半期のみで106回でしたが、近年はプロ・アマチュアを問わず土・日・祝日に利用希望が集中し、平日の利用が減少しております。全体の平均入場者数（貸館（レコーディング、式典等）除く）は543名となり、2017年度（510名）を上回りました。

	2018年度　（ ）は2017年度		オープン以来	
	公演数	入場者数	公演数	入場者数
主催公演	22　(33)	12，727　(18，401)	1，097	642，776
主催公演（人材養成事業）	4　(4)	159　(203)		
共催公演	10　(9)	5，364　(3，011)		
貸館（一般公演）	97(176)	51，422　(91，667)	5，621	3，087，341
貸館（レコーディング、式典等）	9　(16)			
合計	142(238)	69，672(113，282)	6，718	3，730，117

（注）主催公演の内1公演と人材養成事業の内3公演は休館中に他の施設を借りて開催。
貸館（一般公演）には受託公演を含む。中止公演は公演数に含めていない。

3. 「古楽最前線―躍動するバロック　2018」と題し、3年間にわたってルネサンスからバロックに至る時代の音楽を紹介するシリーズをスタートさせ、初年度はルネサンスから初期バロックに至る時代の音楽を中心に5公演を開催しました。今の楽器の原型ともいえる珍しい楽器を用いたレクチャー＆コンサートから始まり、特に宗教作品の最高峰のひとつともいえる大作「聖母マリアの夕べの祈り」はドイツからRIAS室内合唱団を迎えて演奏し、絶賛を博しました。ルネサンス期に一大勢力として隆盛を極めたスペインの名作の数々や、後にバッハに影響を与えたと考えられる作品を紹介したチェンバロ・リサイタルも好評を得ました。最終回はオペラの初期の名作「ポッペアの戴冠」を日本人キャストのみで上演するという画期的な試みも行い、聴衆や関係各所からも絶大な支持を得ることができました。
4. バッハ・アルヒーフ・ライプツィヒとの提携による「バッハ・オルガン作品全曲演奏会」は最終年度を迎え、7年間14公演を無事に終えることができました。最終回の翌日には故・礒山　雅氏と共に芸術監督を務めていただいたクリストフ・ヴォルフ博士による特別講演会も開催しました。
5. そのほか現代音楽を積極的に紹介する「いずみシンフォニエッタ大阪」定期演奏会や、著名アーティストによる「スペシャル・コンサート」「ミュージック・ステージ」など、バラエティに富むラインアップで多様なクラシック音楽ファンのニーズに応えました。また「ランチタイム・コンサート」は新シリーズとしてスタートし、引き続き好評を博しています。
6. 障がいのある方々とサポートする方々をご招待する「夢コンサート」は16回目の公演を開催しました。
また、若年層ファンの育成・獲得に向けた取組であるユースシートも継続しております。
Osaka Shion Wind Orchestraと提携した音楽鑑賞会では大阪市の小学生約4，500人がいずみホールを訪れました。

全主催公演は次の内容です（公演日、標題、演奏者、主な演奏曲名、入場者数を記載）。

【古楽最前線―躍動するバロック 2018 中世・ルネサンスを経ての開花―初期バロックまで（全5公演）】

11/2 （金）	Vol.1 レクチャー＆コンサート 四元素でたどる音楽史 カペラ・デ・ラ・トーレ、マーガレット・ハンター（ソプラノ）、市川克明（お話） ビクトリア：めでたし、海の星 モンテヴェルディ：西風が戻り ピッファロ：あなたの神々しい姿を ほか	447
11/7 （水）	Vol.2 モンテヴェルディ：《聖母マリアの夕べの祈り》 ジャスティン・ドイル（指揮）、RIAS 室内合唱団、カペラ・デ・ラ・トーレ ドロテー・ミールズ、マーガレット・ハンター（ソプラノ） トマス・ホッブズ、マシュー・ロング（テノール）	749
11/11 （日）	Vol.3 スペイン再発見 ファミ・アルカイ（ヴィオラ・ダ・ガンバ）、アカデミア・デル・ピアチェーレ 作曲者不詳：ディ、ペーラ・モラ ファミ・アルカイ：ジョスカンの「はかりしれぬ悲しさ」によるグロサ ムルシア：ファンダンゴ ほか	381
12/20 （木）	Vol.4 バッハとそれ以前の時代 アンドレアス・シュタイアー（チェンバロ） J.S.バッハ：平均律クラヴィーア曲集 第 1 巻 から 平均律クラヴィーア曲集 第 2 巻 から フローベルガー：トッカータ ニ短調 FbWV102 ほか	437
1/19 （土）	Vol.5 モンテヴェルディ：オペラ≪ポッペアの戴冠≫ 渡邊順生（指揮・チェンバロ）、髙岸未朝（演出）、望月哲也（ネローネ） 阿部雅子（ポッペア）、加納悦子（オッターヴィア）、藤木大地（オットーネ） 岩森美里（アルナルタ）、石橋栄実（フォルトゥーナ）、鈴木美登里（ヴィルトゥ） 守谷由香（アモーレ）、斉木健詞（セネカ） ほか	613

【新・音楽の未来への旅シリーズ】

3/1 （金）	いずみシンフォニエッタ大阪 第 41 回定期演奏会 「妙技爛漫―バーゼルの喜び！」 飯森範親（指揮）、神尾真由子（ヴァイオリン） ゴーサン： Eclipse リゲティ：ヴァイオリン協奏曲 オネゲル：交響曲 第4番「バーゼルの喜び」	651

【バッハ・オルガン作品全曲演奏会】

10/6 （土）	第13回「イエスを迎える喜び」 バリント・カロシ（パイプオルガン）、伊東辰彦（お話） J.S.バッハ：プレリュードとフーガ イ短調 BWV551 《イエスよ、わが喜び》BWV1105 プレリュードとフーガ ハ長調 BWV547 ほか	668

3/21 （木・祝）	第14回 【最終回】「永遠への架け橋」 ウルリヒ・ベーメ（パイプオルガン）、クリストフ・ヴォルフ（お話） J.S.バッハ：フーガ ハ短調 BWV575 トリオ・ソナタ 第3番 ニ短調 BWV527 ファンタジーとフーガ ハ短調 BWV537 ほか	754

【新・ランチタイム・コンサート （企画・構成、お話：岡田暁生）】

10/16 （火）	vol. 2 藤原道山「風雅竹韻」 藤原道山、工藤煉山、村澤寶山、田辺恵山、柴 香山、長谷川道将 風間禅寿（尺八） 初代 山本邦山：尺八四重奏曲 第二番「彩画」 川島素晴：尺八のためのエチュード 都山流本曲：鶴の巣籠 ほか	740
12/10 （月）	vol. 3 「チェロの美声を堪能しよう」 辻本 玲（チェロ）、居福健太郎（ピアノ） メンデルスゾーン：チェロ・ソナタ 第2番 サンサーンス：白鳥 チャイコフスキー：感傷的なワルツ ほか	739
3/5 （火）	vol. 4 「1820年代の楽器で月光ソナタを聴く」 小倉貴久子（フォルテピアノ、ピアノ） シューマン：謝肉祭 op.9 より ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第14番 嬰ハ短調「月光」より シューベルト：4つの即興曲 op.90,D899 より 第2番 変ホ長調 ほか	663

【ミュージック・ステージ】

12/25 （火）	クリスマス・コンサート2018 ロザンとMerry Christmas 牧村邦彦（指揮）、Osaka shion Wind Orchestra、ロザン（案内役） アンダーソン：クリスマス・フェスティバル チャイコフスキー：《くるみ割り人形》より「行進曲」「花のワルツ」 ほか	527

【その他公演】

10/25 （木）	IZUMI JAZZ NIGHT 2018 チック・コリア、小曽根真（ピアノ）	795
11/16 （金）	Next Generation Pianists1 小菅 優／「Four Elements」Vol.2 火 チャイコフスキー：「四季」op.37b から1月「炉端にて」 リスト（シュタルク編）：プロメテウス ストラヴィンスキー：「火の鳥」から ほか	390
12/6 （木）	Next Generation Pianists2 ダニール・トリフォノフ 【公演中止】	

1/5 （土）	ニューイヤー・コンサート2019　ウィーン・リング・アンサンブル スッペ：オペレッタ「詩人と農夫」序曲 J.シュトラウスⅡ：オペレッタ「こうもり」メドレー ヨーゼフ・シュトラウス：天体の音楽、ポルカ・マズルカ「とんぼ」　ほか	758
1/14 （月・祝）	Next Generation Pianists3　レミ・ジュニエ ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ　第 23 番　op.57「熱情」 ショパン：マズルカ　op.17 ストラヴィンスキー：「ペトルーシュカ」からの 3 楽章　ほか	449
2/10 （日）	ライナー・ホーネック&いずみシンフォニエッタ大阪アンサンブル ライナー・ホーネック、小栗まち絵（ヴァイオリン） 馬渕昌子、小峰航一（ヴィオラ）、丸山泰雄（チェロ）、吉田　秀（コントラバス） 上田　希（クラリネット）、東口泰之（ファゴット）、木川博史（ホルン） モーツァルト：ディヴェルティメント　ヘ長調　K.138 グラン・ゼクステット シューベルト：八重奏曲ヘ長調 D803, op.166	519
3/15 （金）	MUSIC SUPPLEMENT　Vol. 12 ザッハトルテ（アコーディオン、ギター、チェロ）	501

【普及事業】

8/10 （金）	いずみ子どもカレッジ2018　いっしょにたたこう！パーカッション パンクラング（パーカッションアンサンブル）、小味渕彦之（司会進行） 会場：大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）視聴覚室	71
10/24 （火）	いずみホール夢コンサート2018 藤岡幸夫（指揮）、都築由美（司会） 関西フィルハーモニー管弦楽団	617
1/30 （水）	西村　朗　音楽講座Ⅸ「様々な愛の響像」 西村　朗（お話）、中島慎子（ヴァイオリン）、大江のぞみ（ヴィオラ） 林　裕（チェロ）、碇山典子（ピアノ） クライスラー：愛の喜び、愛の悲しみ ドビュッシー：亜麻色の髪の乙女 西村　朗：〝鳥の歌〟による幻想曲　ほか	679
3/22 （金）	バッハ・オルガン作品全曲演奏会　特別企画　クリストフ・ヴォルフ講演会 「バッハの生涯におけるオルガン―新しく見えてきた世界」 クリストフ・ヴォルフ（お話）、冨田一樹（パイプオルガン） 松居直美（司会）、岡本和子（通訳）	579

【人材養成事業】

アートマネジメント講座　ファンづくりのイロハ 6/22（金）　講座1　7/20（金）　講座2　9/13（木）　講座3　（以上、会場：住友クラブ） 10/6（土）　講座4　（会場：リハーサル室） 主催：いずみホール／協力：大阪アーツカウンシル／共催：日本クラシック音楽事業協会	159

Ⅳ 財団組織運営に関する事項

1. 公益目的支出計画実施報告書等の提出

平成25年4月1日の一般財団法人住友生命福祉文化財団移行後5年を経過し、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第127条第3項の規定により、2017年度の公益目的支出計画実施報告書等を6月27日に内閣府宛提出しました。

平成25年4月1日移行時の公益目的財産額　2, 906, 799, 046円
2017年度末日の公益目的収支差額　1, 708, 271, 774円
2017年度末日の公益目的財産残額　1, 198, 527, 272円

2. 評議員会・理事会開催状況

評議員会・理事会の開催実績は以下のとおりです。

【評議員会】

定時　2018年6月22日
平成29年度事業報告について(報告事項)
平成29年度計算書類承認の件
理事10名選任の件
監事1名選任の件
平成29年度公益目的支出計画実施報告書について(報告事項)
公益目的支出計画の変更認可申請について(報告事項)
平成30年度事業計画書及び収支予算書について(報告事項)

臨時　2019年3月29日　※定款第19条に規定する決議の省略による。
評議員1名選任の件

【理事会】

第1回　2018年6月4日　※定款第35条に規定する決議の省略による。
平成29年度事業報告及び計算書類等承認の件
平成29年度公益目的支出計画実施報告書承認の件
公益目的支出計画の変更認可申請の件
理事候補者10名選出の件
監事候補者1名選出の件
平成30年度定時評議員会開催の決定の件

第2回　2018年6月22日
理事長（代表理事）選定の件
常務理事（業務執行理事）選定の件
理事の担当職務承認の件
理事長代行順位承認の件
使用人職務の委嘱承認の件
役員報酬額決定の件
平成30年度職務執行状況について（報告事項）

第3回　2018年7月4日　※定款第35条に規定する決議の省略による。
理事長（代表理事）選定の件

第4回　2019年3月18日
2019年度事業計画書及び収支予算書承認の件
評議員候補者1名選出の件
2019年度大阪音楽大学との取引承認の件
臨時評議員会開催の決定の件
2018年度職務執行状況について（報告事項）
2018年度大阪音楽大学との取引結果について（報告事項）

3．内部統制に関する報告

【内部統制に関する基本方針】（平成25年4月1日制定、平成27年5月29日改定）

（1） 理事及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
（2） 理事の職務執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
（3） 損失の危険の管理に関する規程
（4） 理事の職務執行が効率的に行われることを確保するための体制
（5） 監事がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人及びその独立性に関する事項及び当該使用人に対する指示の実効性確保に関する事項
（6） 理事及び使用人が監事に報告するための体制その他の監事への報告に関する体制及び当該報告をした者が当該報告をしたことを理由として不利益な取扱いを受けないことを確保するための体制
（7） 監事の職務の執行について生ずる費用の前払又は償還の手続きその他の当該職務の執行について生ずる費用又は債務の処理に係る方針に関する事項
（8） その他監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制

経営に重大な影響を与える事案や受益者等の利益が著しく阻害される事案等は発生していません。各規程に定める理事会及び監事への報告事項は次頁のとおりです。

規程名	報告内容	2018年度状況
法令等遵守規程	コンプライアンスプログラムの遂行状況・達成状況	上期・下期にそれぞれ振り返りを実施。遂行状況・達成状況について問題なし。
	法令等遵守状況	法令等遵守状況について問題なし。
内部通報規程	内部通報制度で受け付けた通報・相談内容及び処理内容	内部通報制度で受け付けた通報・相談なし。
反社会的勢力対策規程	反社会的勢力への対応状況	反社会的勢力が関与する事案はなし。
受益者管理指針	相談・苦情等について	経営に重大な影響を与える、又は受益者の利益が著しく阻害されると判断される事案はなし。
受益者情報管理規程	受益者情報の管理状況	受益者情報の管理状況について問題なし。
外部委託管理規程	各委託元部署から集約した外部委託管理の全社状況その他の重要事項	外部委託先管理において問題となる事項はなし。
リスク管理規程	リスクの状況等	経営に重大な影響を与えると判断される事案はなし。
内部管理法人内検証規程	検証結果	問題となる事項なし。

4. 評議員・役員の状況

2018年度における異動は次のとおりです。(敬称略)

2018年 6月23日	監事	退任(任期満了)	片山 登志子
	理事	重任	宇高 不可思
	理事	重任	小阪 博司
	理事	重任	塩野 元三
	理事	重任	田辺 恭久
	理事	新任	殿納 義雄
	理事	重任	中村 孝義
	理事	重任	林 紀夫
	理事	重任	堀本 葉子
	理事	重任	三野 哲治
	監事	新任	田中 英行
2018年 7月 3日	理事	辞任	田辺 恭久
2018年 7月 4日	理事	新任	野呂 幸雄
2019年 3月31日	評議員	辞任	藤本 宏樹

※2019年4月1日付で、山中斉評議員が就任しております。

評 議 員 名 簿 （敬称略）

（2019年3月31日現在）

評議員	小栗　まち絵	相愛大学大学院音楽研究科　教授 東京音楽大学　特任教授 ・ ヴァイオリニスト
評議員	川木　一正	曽根崎法律事務所　弁護士
評議員	楠岡　英雄	独立行政法人　国立病院機構　理事長
評議員	斉藤　弥生	大阪大学大学院人間科学研究科　教授
評議員	佐藤　義雄	住友生命保険相互会社　取締役会長代表執行役
評議員	中嶋　直躬	コクヨ株式会社　社友・元専務取締役
評議員	藤本　宏樹	住友生命保険相互会社　企画部担当部長

※2019年4月1日付で、山中斉評議員（住友生命保険相互会社　ブランドコミュニケーション部長）が就任しております。

役 員 名 簿 （敬称略）

（2019年3月31日現在）

理事長	野呂　幸雄	住友生命保険相互会社　常任顧問・元取締役代表執行役専務
常務理事	小阪　博司	一般財団法人住友生命福祉文化財団　本部事務局長 元住友生命保険相互会社執行役員
常務理事	殿納　義雄	一般財団法人住友生命福祉文化財団　いずみホール事業局長
理事	宇高　不可思	一般財団法人住友病院　特別顧問
理事	塩野　元三	塩野義製薬株式会社　代表取締役会長
理事	中村　孝義	学校法人大阪音楽大学　理事長
理事	林　紀夫	独立行政法人　労働者健康安全機構　関西労災病院　病院長
理事	堀本　葉子	一般財団法人住友生命福祉文化財団　住友生命総合健診システム所長
理事	三野　哲治	住友ゴム工業株式会社　相談役
監事	上野　博明	上野博明事務所　公認会計士・税理士
監事	田中　英行	宮﨑綜合法律事務所　弁護士

5. その他

附属明細書として、事業報告の内容を補足すべき重要事項はありません。

以上

貸借対照表

2019年 3月31日現在

（単位:円）

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ 資産の部			
1．流動資産			
現金預金	1,153,827,362	1,130,322,799	23,504,563
未収収益	923,913	960,077	-36,164
未収金	182,114,002	163,885,998	18,228,004
貯蔵品	13,826,068	14,391,676	-565,608
立替金	44,500	5,000	39,500
前払費用	5,594,210	4,132,490	1,461,720
未収還付法人税等	74	222,096	-222,022
	1,356,330,129	1,313,920,136	42,409,993
2．固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	609,498,799	689,599,634	-80,100,835
普通預金	91,039,350	11,039,350	80,000,000
基本財産合計	700,538,149	700,638,984	-100,835
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	173,483,520	149,764,520	23,719,000
設備更新引当資産	72,279,656	89,184,896	-16,905,240
特定資産合計	245,763,176	238,949,416	6,813,760
(3) その他固定資産			
建物附属設備	28,080,786	29,996,039	-1,915,253
構築物	1,924,059	1,981,967	-57,908
什器備品	113,740,835	118,937,953	-5,197,118
ソフトウエア	42,015,176	9,793,611	32,221,565
投資有価証券	112,008,718	112,385,262	-376,544
電話加入権	432,000	432,000	0
敷金	4,652,000	4,652,000	0
長期前払費用	670,222	947,555	-277,333
その他固定資産合計	303,523,796	279,126,387	24,397,409
固定資産合計	1,249,825,121	1,218,714,787	31,110,334
資産合計	2,606,155,250	2,532,634,923	73,520,327
Ⅱ 負債の部			
1．流動負債			
未払金	179,846,574	102,804,863	77,041,711
未払費用	9,705,890	9,453,100	252,790
預り金	4,426,486	4,648,939	-222,453
前受金	40,005,044	11,665,284	28,339,760
賞与引当金	41,038,298	40,094,421	943,877
未払法人税等	120,000	120,000	0
未払消費税等	9,196,300	12,006,600	-2,810,300
流動負債合計	284,338,592	180,793,207	103,545,385
2．固定負債			
退職給付引当金	212,980,009	195,639,516	17,340,493
固定負債合計	212,980,009	195,639,516	17,340,493
負債合計	497,318,601	376,432,723	120,885,878
Ⅲ 正味財産の部			
1．指定正味財産			
寄付金	699,217,903	699,316,519	-98,616
指定正味財産合計	699,217,903	699,316,519	-98,616
（うち基本財産への充当額）	699,217,903	699,316,519	-98,616
2．一般正味財産	1,409,618,746	1,456,885,681	-47,266,931
（うち基本財産への充当額）	1,320,246	1,322,465	-2,215
（うち特定資産への充当額）	72,279,656	89,184,896	-16,905,240
正味財産合計	2,108,836,649	2,156,202,200	-47,365,551
負債及び正味財産合計	2,606,155,250	2,532,634,923	73,520,327

（注）実施事業資産は次のとおりである。

建物附属設備	2,733,415
構築物	1,924,059
什器備品	5,250,175
ソフトウエア	1,392,001
	11,299,650

正味財産増減計算書

2018年 4月 1日から2019年 3月31日まで

（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ 一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	7,101,617	7,137,785	-36,168
基本財産受取利息	7,101,617	7,137,785	-36,168
事業収益	1,207,761,147	1,270,360,210	-62,599,063
健診事業収益	1,072,164,984	1,051,914,471	20,250,513
いずみ事業収益	135,596,163	218,445,739	-82,849,576
受取補助金等	30,016,520	39,780,000	-9,763,480
受取助成金	30,016,520	39,780,000	-9,763,480
受取寄付金	385,000,000	385,000,000	0
受取寄付金	385,000,000	385,000,000	0
雑収益	2,244,829	3,812,611	-1,567,782
受取利息	941,056	2,172,433	-1,231,377
雑収益	1,303,773	1,640,178	-336,405
経常収益計	1,632,124,113	1,706,090,606	-73,966,493
(2) 経常費用			
事業費	1,657,689,345	1,758,980,539	-101,291,194
役員報酬	9,550,000	10,424,000	-874,000
給料手当	353,540,545	343,559,451	9,981,094
臨時雇賃金	281,338,318	296,025,944	-14,687,626
退職給付費用	28,955,726	41,839,897	-12,884,171
福利厚生費	80,739,366	76,645,115	4,094,251
広告宣伝費	10,131,742	9,713,022	418,720
旅費交通費	27,434,930	29,731,055	-2,296,125
通信運搬費	20,753,035	20,472,281	280,754
減価償却費	65,040,380	67,055,481	-2,015,101
消耗什器備品費	3,989,580	3,092,067	897,513
消耗品費	17,665,766	9,820,584	7,845,182
健診消耗品費	129,767,087	139,281,800	-9,514,713
修繕費	25,356,793	34,446,725	-9,089,932
印刷製本費	11,356,896	12,068,397	-711,501
光熱水料費	16,204,160	15,790,073	414,087
賃借料	152,152,341	152,638,273	-485,932
保険料	1,203,565	1,300,981	-97,416
諸謝金	938,337	3,707,059	-2,768,722
会議・交際費	2,589,570	2,616,410	-26,840
租税公課	20,116,583	20,926,390	-809,807
支払負担金	1,435,290	1,473,563	-38,273
支払助成金	3,000,000	3,000,000	0
委託費	232,583,858	227,232,820	5,351,038
雑費	11,716,239	9,816,132	1,900,107
いずみホール管理費	63,322,724	87,204,568	-23,881,844
公演企画制作費	86,806,514	139,098,451	-52,291,937
管理費	17,235,337	18,449,163	-1,213,826
役員報酬	2,613,338	3,176,000	-562,662
給料手当	5,828,310	6,023,439	-195,129
退職給付費用	-37,233	-380,404	343,171
福利厚生費	2,810,741	3,003,461	-192,720
旅費交通費	167,057	395,096	-228,039
通信運搬費	17,968	24,516	-6,548
減価償却費	9,773	18,872	-9,099
消耗什器備品費	0	233	-233
消耗品費	2,241	29,064	-26,823
修繕費	1,718	3,669	-1,951
印刷製本費	191,580	402,100	-210,520
光熱水料費	60,718	58,846	1,872
賃借料	589,263	590,631	-1,368
保険料	137,590	138,569	-979
諸謝金	1,200,000	1,200,000	0
会議・交際費	702,637	699,455	3,182
租税公課	1,708,193	1,775,011	-66,818
支払負担金	156,579	198,568	-41,989
支払寄付金	70,000	80,000	-10,000
委託費	819,417	862,111	-42,694
雑費	185,447	149,926	35,521
経常費用計	1,674,924,682	1,777,429,702	-102,505,020
評価損益等調整前当期経常増減額	-42,800,569	-71,339,096	28,538,527
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-42,800,569	-71,339,096	28,538,527
2．経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
固定資産除却損	4,466,366	219,459	4,246,907
什器備品除却損	8	219,459	-219,451
ソフトウエア除却損	4,466,358	0	4,466,358
経常外費用計	4,466,366	219,459	4,246,907
当期経常外増減額	-4,466,366	-219,459	-4,246,907
当期一般正味財産増減額	-47,266,935	-71,558,555	24,291,620
一般正味財産期首残高	1,456,885,681	1,528,444,236	-71,558,555
一般正味財産期末残高	1,409,618,746	1,456,885,681	-47,266,935
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	6,986,013	7,021,576	-35,563
基本財産受取利息	6,986,013	7,021,576	-35,563
一般正味財産への振替額	-7,084,629	-7,120,196	35,567
当期指定正味財産増減額	-98,616	-98,620	4
指定正味財産期首残高	699,316,519	699,415,139	-98,620
指定正味財産期末残高	699,217,903	699,316,519	-98,616
Ⅲ 正味財産期末残高	2,108,836,649	2,156,202,200	-47,365,551

正味財産増減計算書内訳表

2018年 4月 1日から2019年 3月31日まで

（単位：円）

科目	実施事業等会計			その他会計			法人会計	合計
	福祉事業	音楽文化振興事業	小計	予防医学振興事業	式典等貸館事業	小計		
Ⅰ 一般正味財産増減の部								
1．経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	7,101,617	7,101,617
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	7,101,617	7,101,617
事業収益	0	129,768,639	129,768,639	1,072,164,984	5,827,524	1,077,992,508	0	1,207,761,147
健診事業収益	0	0	0	1,072,164,984	0	1,072,164,984	0	1,072,164,984
いずみ事業収益	0	129,768,639	129,768,639	0	5,827,524	5,827,524	0	135,596,163
受取補助金等	0	30,016,520	30,016,520	0	0	0	0	30,016,520
受取助成金	0	30,016,520	30,016,520	0	0	0	0	30,016,520
受取寄付金	0	0	0	185,500,000	0	185,500,000	199,500,000	385,000,000
受取寄付金	0	0	0	185,500,000	0	185,500,000	199,500,000	385,000,000
雑収益	0	965,174	965,174	339,099	0	339,099	940,556	2,244,829
受取利息	0	0	0	500	0	500	940,556	941,056
雑収益	0	965,174	965,174	338,599	0	338,599	0	1,303,773
経常収益計	0	160,750,333	160,750,333	1,258,004,083	5,827,524	1,263,831,607	207,542,173	1,632,124,113
(2) 経常費用								
事業費	158,898,672	360,437,453	519,336,125	1,129,281,462	9,071,758	1,138,353,220	0	1,657,689,345
役員報酬	2,400,000	4,735,000	7,135,000	2,400,000	15,000	2,415,000	0	9,550,000
給料手当	6,189,435	97,095,358	103,284,793	248,430,405	1,825,347	250,255,752	0	353,540,545
臨時雇賃金	0	15,035,004	15,035,004	265,532,736	770,578	266,303,314	0	281,338,318
退職給付費用	-74,466	14,578,548	14,504,082	14,160,192	291,452	14,451,644	0	28,955,726
福利厚生費	3,780,874	21,927,938	25,708,812	54,623,227	407,327	55,030,554	0	80,739,366
広告宣伝費	0	9,363,163	9,363,163	515,327	253,252	768,579	0	10,131,742
旅費交通費	1,440,634	5,958,820	7,399,454	19,867,324	168,152	20,035,476	0	27,434,930
通信運搬費	15,068	4,818,089	4,833,157	15,863,256	56,622	15,919,878	0	20,753,035
減価償却費	0	3,729,035	3,729,035	61,223,593	87,752	61,311,345	0	65,040,380
消耗什器備品費	0	0	0	3,989,580	0	3,989,580	0	3,989,580
消耗品費	158	2,199,082	2,199,240	15,378,612	87,914	15,466,526	0	17,665,766
健診消耗品費	0	0	0	129,767,087	0	129,767,087	0	129,767,087
修繕費	0	644,587	644,587	24,697,600	14,606	24,712,206	0	25,356,793
印刷製本費	0	5,969,488	5,969,488	5,362,749	24,659	5,387,408	0	11,356,896
光熱水料費	67,573	3,880,630	3,948,203	12,168,023	87,934	12,255,957	0	16,204,160
賃借料	763,987	7,407,014	8,171,001	143,813,500	167,840	143,981,340	0	152,152,341
保険料	2,133	605,562	607,695	550,710	45,160	595,870	0	1,203,565
諸謝金	0	901,299	901,299	37,038	0	37,038	0	938,337
会議・交際費	218,862	1,105,835	1,324,697	1,250,372	14,501	1,264,873	0	2,589,570
租税公課	9,599,787	2,852,715	12,452,502	7,648,471	15,610	7,664,081	0	20,116,583
支払負担金	0	562,348	562,348	860,200	12,742	872,942	0	1,435,290
支払助成金	0	0	0	3,000,000	0	3,000,000	0	3,000,000
委託費	134,462,727	6,473,062	140,935,789	91,446,878	201,191	91,648,069	0	232,583,858
雑費	31,900	4,844,266	4,876,166	6,694,582	145,491	6,840,073	0	11,716,239
いずみホール管理費	0	58,944,096	58,944,096	0	4,378,628	4,378,628	0	63,322,724
公演企画制作費	0	86,806,514	86,806,514	0	0	0	0	86,806,514
管理費	0	0	0	0	0	0	17,235,337	17,235,337
役員報酬	0	0	0	0	0	0	2,613,338	2,613,338
給料手当	0	0	0	0	0	0	5,828,310	5,828,310
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	-37,233	-37,233
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	2,810,741	2,810,741
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	167,057	167,057
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	17,968	17,968
減価償却費	0	0	0	0	0	0	9,773	9,773
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0	0	0	2,241	2,241
修繕費	0	0	0	0	0	0	1,718	1,718
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	191,580	191,580
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	60,718	60,718
賃借料	0	0	0	0	0	0	589,263	589,263
保険料	0	0	0	0	0	0	137,590	137,590
諸謝金	0	0	0	0	0	0	1,200,000	1,200,000
会議・交際費	0	0	0	0	0	0	702,637	702,637
租税公課	0	0	0	0	0	0	1,708,193	1,708,193
支払負担金	0	0	0	0	0	0	156,579	156,579
支払寄付金	0	0	0	0	0	0	70,000	70,000
委託費	0	0	0	0	0	0	819,417	819,417
雑費	0	0	0	0	0	0	185,447	185,447
経常費用計	158,898,672	360,437,453	519,336,125	1,129,281,462	9,071,758	1,138,353,220	17,235,337	1,674,924,682
評価損益等調整前当期経常増減額	-158,898,672	-199,687,120	-358,585,792	128,722,621	-3,244,234	125,478,387	190,306,836	-42,800,569
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	-158,898,672	-199,687,120	-358,585,792	128,722,621	-3,244,234	125,478,387	190,306,836	-42,800,569
2．経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
固定資産除却損	0	0	0	4,466,366	0	4,466,366	0	4,466,366
什器備品除却損	0	0	0	8	0	8	0	8
ソフトウエア除却損	0	0	0	4,466,358	0	4,466,358	0	4,466,358
経常外費用計	0	0	0	4,466,366	0	4,466,366	0	4,466,366
当期経常外増減額	0	0	0	-4,466,366	0	-4,466,366	0	-4,466,366
当期一般正味財産増減額	-158,898,672	-199,687,120	-358,585,792	124,256,255	-3,244,234	121,012,021	190,306,836	-47,266,935
一般正味財産期首残高	-702,702,318	-811,814,451	-1,514,516,769	1,519,611,666	-642,070	1,518,969,596	1,452,432,854	1,456,885,681
一般正味財産期末残高	-861,600,990	-1,011,501,571	-1,873,102,561	1,643,867,921	-3,886,304	1,639,981,617	1,642,739,690	1,409,618,746
Ⅱ 指定正味財産増減の部								
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	6,986,013	6,986,013
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	6,986,013	6,986,013
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	-7,084,629	-7,084,629
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	-98,616	-98,616
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	699,316,519	699,316,519
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	699,217,903	699,217,903
Ⅲ 正味財産期末残高	-861,600,990	-1,011,501,571	-1,873,102,561	1,643,867,921	-3,886,304	1,639,981,617	2,341,957,593	2,108,836,649

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針
(1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券･･･移動平均法による償却原価法(定額法)によっている。
その他有価証券
時価のあるもの･･･期末日の市場価額等に基づく時価法(売却原価は移動平均法により算定)
時価のないもの･･･移動平均法による原価法
(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
貯蔵品･･･個別法による原価法によっている。
(3) 有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却の方法
定額法によっている。(耐用年数及び残存価額は法人税法に規定する方法と同一の基準)
(4) 無形固定資産(リース資産を除く)の減価償却の方法
定額法によっている。(耐用年数及び残存価額は法人税法に規定する方法と同一の基準)
(5) 引当金の計上基準
退職給付引当金･･･職員の退職給付に備えるため、退職一時金については当事業年度末における自己都合要支給額に相当する金額、退職年金については年金の将来支給予定額を現在価値に割り引いた金額を計上している。
なお、会計基準変更時差異については、15年による按分額を費用処理している。
賞与引当金･･･････職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
(6) 消費税等の会計処理
税抜方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	689,599,634	0	80,100,835	609,498,799
普通預金	11,039,350	80,000,000	0	91,039,350
小 計	700,638,984	80,000,000	80,100,835	700,538,149
特定資産				
退職給付引当資産	149,764,520	23,719,000	0	173,483,520
設備更新引当資産	89,184,896	0	16,905,240	72,279,656
小 計	238,949,416	23,719,000	16,905,240	245,763,176
合 計	939,588,400	103,719,000	97,006,075	946,301,325

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	609,498,799	609,498,799	0	0
普通預金	91,039,350	89,719,104	1,320,246	0
小 計	700,538,149	699,217,903	1,320,246	0
特定資産				
退職給付引当資産	173,483,520	0	0	173,483,520
設備更新引当資産	72,279,656	0	72,279,656	0
小 計	245,763,176	0	72,279,656	173,483,520
合 計	946,301,325	699,217,903	73,599,902	173,483,520

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	646,912,450	618,831,664	28,080,786
構築物	2,797,498	873,439	1,924,059
什器備品	728,846,296	615,105,461	113,740,835
ソフトウエア	75,583,071	33,567,895	42,015,176
合 計	1,454,139,315	1,268,378,459	185,760,856

5.偶発債務
事務所及び診療施設に関して、賃貸借契約に基づく賃貸借契約終了時の原状回復義務を有しているが、その見積額は、360,000,000円である。なお、当財団は建物の取壊しまで賃貸借契約を継続する意向であり、その場合には原状回復を行うことなく建物の取壊しが行われると考えられることから、損失の発生の可能性は低いと判断している。

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
国 債	721,507,517	740,870,314	19,362,797
合 計	721,507,517	740,870,314	19,362,797

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

（単位：円）

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
寄付金						
基本財産充当寄付金	住友生命保険相互会社	699,316,519	0	98,616	699,217,903	指定正味財産
2018年度寄付金	住友生命保険相互会社	0	385,000,000	385,000,000	0	一般正味財産
助成金						
2018年度文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）	独立行政法人日本芸術文化振興会	0	26,917,330	26,917,330	0	一般正味財産
2018年度芸術活動振興事業助成金	大阪市	0	2,000,000	2,000,000	0	一般正味財産
いずみシンフォニエッタ公演助成金	公益財団法人野村財団	0	500,000	500,000	0	一般正味財産
いずみホールオペラ「ポッペアの戴冠」助成金	公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団	0	500,000	500,000	0	一般正味財産
クリストフ・ヴォルフ渡航費助成金	大阪ドイツ文化センター	0	99,190	99,190	0	一般正味財産
合　　計		699,316,519	415,016,520	415,115,136	699,217,903	

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

内　容	金　額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息振替額（償却原価法によるものを除く）	7,084,629
合　　計	7,084,629

9. 金融商品に関する事項
(1)金融商品に対する取組方針
当法人は、預金及び債券により資産運用し、デリバティブ取引は行わない方針である。
(2)金融商品の内容及びそのリスク
有価証券及び投資有価証券は、債券であり、発行体の信用リスク、市場価格の変動リスクにさらされている。
(3)金融商品のリスクに係る管理体制
① 資金運用規程に基づく取引
金融商品の取引は、当法人の資金運用規程に基づき行っている。
② 信用リスクの管理
発行体の状況等を定期的に把握し、理事会に報告している。
③ 市場リスクの管理
関連する市場の動向等を把握し、理事会に報告している。

10. その他
(1) 退職給付関係
①採用している退職給付制度の概要
確定給付型の制度として退職一時金及び退職年金制度を設けている。
②退職給付債務及びその内訳

（単位：円）

退職給付債務	-225,841,000
会計基準変更時差異の未処理額	12,860,991
退職給付引当金	-212,980,009

③退職給付費用に関する事項

（単位：円）

勤務費用	22,488,000
会計基準変更時差異の費用処理額	6,430,493
退職給付費用	28,918,493

④退職給付債務等の計算の基礎に関する事項
退職一時金制度に基づく期末の自己都合要支給額及び退職年金制度に基づく将来支給予定額を現在価値に割り引いた金額を計算の基礎としている。
⑤会計基準変更時差異の処理年数
15年
(2)資産除去債務
事務所及び診療施設に関して、賃貸借契約に基づく賃貸借契約終了時の原状回復義務を有しているが、当財団は建物の取壊しまで賃貸借契約を継続する意向であり、その場合には原状回復を行うことなく建物の取壊しが行われると考えられることから、資産除去債務を計上していない。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細書
財務諸表に対する注記に記載をしており、内容の記載を省略する。

2. 引当金の明細書

（単位:円）

科　目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞　与　引　当　金	40,094,421	41,038,298	40,094,421	0	41,038,298
退職給付引当金	195,639,516	28,918,493	11,578,000	0	212,980,009

予算対比正味財産増減計算書(参考資料)

2018年 4月 1日から2019年 3月31日まで

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異
Ⅰ 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	7,022,000	7,101,617	-79,617
基本財産受取利息	7,022,000	7,101,617	-79,617
事業収益	1,213,914,000	1,207,761,147	6,152,853
健診事業収益	1,063,300,000	1,072,164,984	-8,864,984
いずみ事業収益	150,614,000	135,596,163	15,017,837
受取補助金等	23,000,000	30,016,520	-7,016,520
受取助成金	23,000,000	30,016,520	-7,016,520
受取寄付金	385,000,000	385,000,000	0
受取寄付金	385,000,000	385,000,000	0
雑収益	1,802,000	2,244,829	-442,829
受取利息	958,000	941,056	16,944
雑収益	844,000	1,303,773	-459,773
経常収益計	1,630,738,000	1,632,124,113	-1,386,113
(2) 経常費用			
事業費	1,708,686,000	1,657,689,345	50,996,655
役員報酬	10,500,000	9,550,000	950,000
給料手当	349,134,000	353,540,545	-4,406,545
臨時雇賃金	297,680,000	281,338,318	16,341,682
退職給付費用	15,925,000	28,955,726	-13,030,726
福利厚生費	82,862,000	80,739,366	2,122,634
広告宣伝費	12,794,000	10,131,742	2,662,258
旅費交通費	31,784,000	27,434,930	4,349,070
通信運搬費	20,856,000	20,753,035	102,965
減価償却費	69,290,000	65,040,380	4,249,620
消耗什器備品費	1,192,000	3,989,580	-2,797,580
消耗品費	9,757,000	17,665,766	-7,908,766
健診消耗品費	145,453,000	129,767,087	15,685,913
修繕費	38,313,000	25,356,793	12,956,207
印刷製本費	13,110,000	11,356,896	1,753,104
光熱水料費	15,782,000	16,204,160	-422,160
賃借料	152,352,000	152,152,341	199,659
保険料	1,400,000	1,203,565	196,435
諸謝金	3,920,000	938,337	2,981,663
会議・交際費	1,722,000	2,589,570	-867,570
租税公課	21,832,000	20,116,583	1,715,417
支払負担金	1,758,000	1,435,290	322,710
支払助成金	5,200,000	3,000,000	2,200,000
委託費	239,131,000	232,583,858	6,547,142
雑費	7,800,000	11,716,239	-3,916,239
いずみホール管理費	68,284,000	63,322,724	4,961,276
公演企画制作費	90,857,000	86,806,514	4,050,486
管理費	18,128,000	17,235,337	892,663
役員報酬	2,800,000	2,613,338	186,662
給料手当	4,693,000	5,828,310	-1,135,310
退職給付費用	54,000	-37,233	91,233
福利厚生費	2,973,000	2,810,741	162,259
旅費交通費	473,000	167,057	305,943
通信運搬費	39,000	17,968	21,032
減価償却費	24,000	9,773	14,227
消耗什器備品費	8,000	0	8,000
消耗品費	13,000	2,241	10,759
修繕費	10,000	1,718	8,282
印刷製本費	510,000	191,580	318,420
光熱水料費	60,000	60,718	-718
賃借料	524,000	589,263	-65,263
保険料	1,000	137,590	-136,590
諸謝金	1,300,000	1,200,000	100,000
会議・交際費	1,038,000	702,637	335,363
租税公課	3,109,000	1,708,193	1,400,807
支払負担金	3,000	156,579	-153,579
支払寄付金	70,000	70,000	0
委託費	384,000	819,417	-435,417
雑費	40,000	185,447	-145,447
経常費用計	1,726,814,000	1,674,924,682	51,889,318
評価損益等調整前当期経常増減額	-96,076,000	-42,800,569	-53,275,431
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-96,076,000	-42,800,569	-53,275,431
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
固定資産除却損	0	4,466,366	-4,466,366
什器備品除却損	0	8	-8
ソフトウエア除却損	0	4,466,358	-4,466,358
経常外費用計	0	4,466,366	-4,466,366
当期経常外増減額	0	-4,466,366	4,466,366
当期一般正味財産増減額	-96,076,000	-47,266,935	-48,809,065
一般正味財産期首残高	1,341,099,000	1,456,885,681	-115,786,681
一般正味財産期末残高	1,245,023,000	1,409,618,746	-164,595,746
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	7,014,000	6,986,013	27,987
基本財産受取利息	7,014,000	6,986,013	27,987
一般正味財産への振替額	-7,112,000	-7,084,629	-27,371
当期指定正味財産増減額	-98,000	-98,616	616
指定正味財産期首残高	699,320,000	699,316,519	3,481
指定正味財産期末残高	699,222,000	699,217,903	4,097
Ⅲ 正味財産期末残高	1,944,245,000	2,108,836,649	-164,591,649

設備投資額　　予算額;　214,800,000　　決算額;　94,567,805

財産目録（参考資料）

2019年 3月31日現在

（単位:円）

貸借対照表科目		内容・備考	金　　額
（流動資産）			
	現金		1,305,870
		手元保管（予防医学振興事業）	1,163,342
		手元保管（音楽文化振興事業）	142,528
	預金	普通預金	1,152,521,492
		三井住友銀行（予防医学振興事業）	280,581,217
		みずほ銀行（予防医学振興事業）	6,675,798
		三菱ＵＦＪ銀行（予防医学振興事業）	504,340,839
		三井住友銀行（福祉事業）	24,603,091
		近畿大阪銀行（音楽文化振興事業）	175,460,480
		近畿大阪銀行（音楽文化振興事業）	4,236,167
		近畿大阪銀行（音楽文化振興事業）	514,383
		三菱ＵＦＪ銀行（音楽文化振興事業）	602,242
		三井住友銀行（音楽文化振興事業）	993,323
		三井住友銀行（音楽文化振興事業）	15,000,000
		ゆうちょ銀行（音楽文化振興事業）	131,798
		三井住友銀行（法人会計）	139,382,154
	未収収益		923,913
	未収金		182,114,002
		予防医学振興事業未収金	148,143,148
		音楽文化振興事業未収金	33,752,686
		式典等貸館事業未収金	218,168
	貯蔵品		13,826,068
		予防医学振興事業貯蔵品	11,850,503
		音楽文化振興事業貯蔵品	1,975,565
	立替金		44,500
	前払費用		5,594,210
		予防医学振興事業前払費用	1,711,541
		音楽文化振興事業前払費用	3,882,669
	未収還付法人税等		74
流動資産合計			1,356,330,129
（固定資産）			
基本財産			700,538,149
	投資有価証券		609,498,799
		第３１９回利付国債（法人会計）	195,784,160
		第３１１回利付国債（法人会計）	259,376,232
		第　６１回利付国債（法人会計）	99,112,034
		第３０５回利付国債（法人会計）	55,226,373
	普通預金		91,039,350
		三菱ＵＦＪ銀行（予防医学振興事業）	80,000,000
		三菱ＵＦＪ銀行（法人会計）	11,039,350
特定資産			245,763,176
	退職給付引当資産		173,483,520
		三菱ＵＦＪ銀行（予防医学振興事業）	117,721,520
		近畿大阪銀行（音楽文化振興事業）	55,762,000
	設備更新引当資産		72,279,656
		三菱ＵＦＪ銀行（予防医学振興事業）	72,279,656
その他固定資産			303,523,796
	建物付属設備		28,080,786
	構築物		1,924,059
	什器備品		113,740,835
	ソフトウエア		42,015,176
	投資有価証券		112,008,718
		第３０７回利付国債（法人会計）	67,056,305
		第　６１回利付国債（法人会計）	44,952,413
	電話加入権		432,000
	敷金		4,652,000
	長期前払費用		670,222
固定資産合計			1,249,825,121
資産合計			2,606,155,250
（流動負債）			
	未払金		179,846,574
		予防医学振興事業未払金	135,660,020
		音楽文化振興事業未払金	12,940,554
		福祉事業未払金	31,246,000
	未払費用		9,705,890
		予防医学振興事業未払費用	7,036,909
		音楽文化振興事業未払費用	2,668,981
	預り金		4,426,486
		予防医学振興事業未払金	2,674,181
		音楽文化振興事業未払金	1,752,305
	前受金		40,005,044
		音楽文化振興事業前受金	38,989,844
		式典等貸館事業前受金	1,015,200
	賞与引当金		41,038,298
		予防医学振興事業賞与引当金	31,737,552
		音楽文化振興事業賞与引当金	9,300,746
	未払法人税等		120,000
	未払消費税等		9,196,300
流動負債合計			284,338,592
（固定負債）			
	退職給付引当金		212,980,009
		予防医学振興事業退職給付引当金	157,218,009
		音楽文化振興事業退職給付引当金	55,762,000
固定負債合計			212,980,009
負債合計			497,318,601
正味財産			2,108,836,649

監査報告　謄本

監　査　報　告

２０１９年　5月１０日

一般財団法人住友生命福祉文化財団
理事長　野呂　幸雄　殿

監事　　上野　　博明 ㊞

監事　　田中　　英行 ㊞

私たち監事は、２０１８年４月１日から２０１９年３月３１日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

１．監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

２．監査の結果

（１）事業報告等の監査結果

①　事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

②　理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（２）計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

（３）公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以上